
住友ビルディング

写真：西岡潔



都心のオフィス需要が増大した高度経済成長期、建物の高さは法律で31mにおさえられたため、上ではなく横へと膨らむ「マンモスビル」が登場した。住友ビルは特例で高さ45mの12階とし、延べ床面積約9万㎡、床面積では当時西日本最大、現在も賃貸オフィスビルの1階当たりの床面積としては大阪最大の規模を誇る、大阪を代表するマンモスビル。正方形に近い平面に十字に通路を通した明快なプランは周辺の街路にも似て、3,500人が働くひとつの街のようだ。外観は水平連続窓にアルミとステンレスの金属素材を組み合わせた軽快なファサードで、西隣に建つ三井住友銀行大阪本店ビルの重厚さと対照をなしている。戦前の大大阪時代と戦後の高度経済成長期を代表する新旧の住友ビルが土佐堀川に面して並ぶ景色は、大阪の近現代建築史を生きて伝える貴重なビル景観だ。(高岡伸一)

英語名：THE SUMITOMO BLDG.

所在地：大阪市中央区北浜 4-5-33

建設年：1962年 -